

第4回通常理事会 議事報告

会長 鷺見八重子

この夏は局地的豪雨が多発し不順な天候でしたが、皆さまご無事に猛暑を乗り切られたでしょうか。理事会では皆元気に秋の活動に取り掛かっています。GWI ジュネーブ大会に出席の鈴木・藤谷・窪田理事、中山監事、鷺見の5名はお土産話をたくさん携え8月3日に帰国しました。JAUWの参加者は32名、詳細は鈴木千鶴子 CIR 理事の報告をご覧ください。

理事会の午前中には年一度の委員長会議を開き、各委員会の活動状況など情報交換を行いました。公益目的支出計画に基づく事業ならびに法人関係、収益、新規事業等に関わる多くの委員の方々により本部が支えられていることに改めて深く感謝いたしました。

では、実りの秋を迎える皆さまのご活躍を祈りつつ第4回理事会の議事報告をお届けします。

日時：2019年9月7日（土）13：30～17：00 場所：本部会議室

審議事項

1. 2019年度全国セミナーについて（加納企画委員長・牧島実行委員長）

日時：2019年10月19日（土）13時～10月20日（日）16時30分 場所：国立女性教育会館

テーマ：「教育・ジェンダー・共生—あらゆるハラスメントを乗り越えるために—」

ただいま参加受付中。一般の参加者からの反応が良い。9月14日（土）に実行委員会を発足。本部委員会選出の方々にお世話になります。懇親会は東京支部担当。ふるってご参加ください。

2. 役員選考について（市川総務担当理事）

来年度改選となる役員選考について、選考委員会（西村寿美子委員長）のもと多くの会員からの推薦を期待し推薦方法等の検討が始まった。11月末の会報268号に推薦依頼書類等を同封する予定。

3. 文化交流委員会について（端本国際交流担当理事）

9月15日（日）奈良支部および11月10日（日）大分支部による留学生との交流プログラムに建部静代委員長、端本理事、鷺見会長の3名が参加する。

4. 会員異動（牧島総務担当副会長）

7月入会者3名（東京、神奈川、岡山）、8月入会者2名（東京、長崎）を承認。

7月・8月退会者2名。現会員数759名。

5. 委員会委員の選任（窪田・藤谷担当理事）

国内奨学委員会：西尾静恵（東京支部）、文化事業委員会：石井朋子（神奈川支部）承認。

6. 会員拡大委員会について（森川担当理事）

2020年1月末から2月頃、長野支部訪問を予定し、調整を始めたい。

7. その他

1) 内閣府への報告書関連委員会の名称を「公益目的支出計画実施に関わる特別委員会」（名称の明確化）とし、来年度へ向けて委員等を検討する（牧島副会長）

2) 国際奨学委員会のメールの新アドレス取得について梅田和子 HP 担当委員と相談する。

3) 創立70周年記念募金について（牧島委員長）：7月1日～8月31日寄付者4名、23,500円、当初からの延べ人数599名、総額8,957,200円。ありがとうございました。

4) 新春のつどいについて（藤谷事業担当理事）：2020年1月11日（土）京王プラザホテル。

国内奨学金贈呈式他に、新春のつどいらしい「楽しいくじ引き」を企画中。

5) 2018年度の文化交流委員会活動に多大な貢献をされた夏瑛さん（日中友好会館留学生事業部）に感謝状を贈呈しました。（8月5日本部にて：市川、江原、中山、端本、鷺見）

6) CSW64に参加の若手候補募集中（9/25締切）。HPをご覧ください、推薦よろしくお願ひします。

7) 内閣府男女共同参画推進連絡会議次期議員：山下いづみ国際NW委員長を推薦しました（会長）。

★鈴木千鶴子（CIR 理事）のジュネーブ大会報告を以下に添付します。

以上

第 33 回 GWI 総会および 100 周年記念大会 報告

鈴木千鶴子 (CIR)

1. 概要

GWI 本部のあるスイス、ジュネーヴ市内は、ジュネーヴ大学 Uni Mail キャンパスで、7 月 24 日のプレイベントを含め 28 日の GWI デーまで 5 日間にわたり、約 50 ヶ国から 400 名が参加し盛大に開催された。JAUW からの参加者は会員 30 名で、開催地スイスの 41 名、アメリカ 32 名に次ぐ多数を占めた。

「平和は教育から」ないしは「教育を通して平和を」をテーマに掲げるカンファランスは、南アフリカ共和国元大統領ネルソン・マンデラ氏の孫娘で人権活動家のスワティ・デウラミニ・マンデラによる基調講演で幕を開け、JAUW からはワークショップおよび ID セミナーで以下の 4 件を発表し、様々な国々の参加者から好評を博した。

- (1) 本年 3 月に完了した東日本大震災災害地支援事業に基づくワークショップ：

Accessibility of Networks in a Crisis and the Mission of GWI 「災害時のネットワークに活かされる GWI のミッション」(青木怜子・高田武子・穂田信子)

- (2) ID セミナー：

- ① 2018 年度 JAUW 公開シンポジウム「教育・ジェンダー・共生—誰ひとり取り残さない共生社会を創るために—」報告書に基づく口頭発表：Determining Educational Goals for Peaceful Coexistence: A Study Based on a Symposium of JAUW 「平和共生のための教育目標をどこに定めるか—JAUW シンポジウムから」(鈴木千鶴子)

- ② 東日本大災害の実体験に基づく知見を口頭発表：What Can Graduate Women Do to Mitigate Suffering in Disasters 「大卒女性は減災のために何ができるか」(平田恭子)

- ③ 世界で唯一の戦争被爆国、日本の長崎から世界へ広がり昨年度よりノーベル平和賞にノミネートの高校生主体による活動の紹介ポスター発表：How the Voices of Youth Calling for Nuclear Abolition Can Reach around the World: A Case Report from an A-bombed City Nagasaki, Japan 「核廃絶を訴える高校生平和大使・万人署名活動を世界へ広げるアクターとファクター」(長崎支部：鈴木)

* プログラム・アブストラクト・発表者情報：

<https://graduatewomen.org/wp-content/uploads/2019/07/33rd-Triennial-GWI-Conference-Programme-summaries-bios-web-6-July-2019.pdf>

2. 第 33 回 GWI 総会

2 日間にわたり開催された会議に、JAUW から割り当て 3 名の代議員として鷺見八重子会長、鈴木千鶴子 CIR、藤谷文子理事、控えとして青木怜子元 IFUW 会長、三木谷節子神戸支部会員、岡崎優子岡山支部会員が当たり、主に以下の審議事項を決定するに参画した。

- (1) 新役員選挙結果

会長： Terry OUDRAAD (オランダ)

副会長 (会員担当理事)： Eileen FOCKE-BAKKER (オランダ)

副会長 (教育提唱理事)： Louise MCLEOD (アメリカ)

副会長 (資金調達理事)： Basak OVACIK (トルコ)

会計： Katharina STRUB (スイス)

* 法・統治担当理事、マーケティング担当理事は、後日任命

会員委員会：委員長 Meera BONDRE（インド）、Nneka CHIEDOZIE（ナイジェリア）、
Perine WADGY（エジプト）、Pouya SAEEDI（ニュージーランド）

教育委員会：委員長 Shirley GILLETT（ニュージーランド）、Confidence DIKGOL（南アフリ
カ）、Alba Evelyn CORTEZ（エルサルバドル）

財政委員会：会計補佐（カナダ）Beverley RHODES、会計補佐（スイス）Karoline DORSCH
委員：Kathryn B. HORVAT（米）、Pat SIVERTSEN（ニュージーランド）、Abeda INAM
（インド）

* その他の委員会役員については、**プロジェクト委員会のイレーヌ賀集氏**を含め、候補に基づき後日
任命

(2) 定款決議

- ①特別基金の流用については総会の3分の2以上の賛成を得て可能とする
- ②複数国合同加盟を可能とする
- ③年会費全額期日内納付不履行による資格喪失について、原案通り猶予期間を設ける

(3) 内部決議

- ①2016年～2018年会計監査承認
- ②監査機関と監査方法承認
- ③年会費値上げ計画は本年無し、今後については推移をみて毎年検討することを承認
- ④2020年～2022年予算案承認
- ⑤第34回GWI総会期日と場所については理事会へ一任

(4) 一般（政策・行動）決議

- ①多様な教師の採用・配備
- ②女性の教育による平和構築
- ③人権教育としての性とリプロダクティブ・ヘルス教育
- ④女性へのSTEM教育
- ⑤難民と女性と子どもの移住者のための人権
- ⑥難民と外国人保護申請者への公正で差別のない管理運営
- ⑦職場におけるセクシャル・ハラスメント
- ⑧グローバル目標としての持続可能な開発目標（SDGs）

3. 100周年祝賀会

初日7月25日、大学ロビーに300名以上の参加者用のイスとテーブルを備えた夕食会場が設けられ、1920年の初回参加国に続き現在の加盟国の紹介で始まった祝賀会は、JAUWよりお祝いとして葛飾北斎の版画「神奈川沖浦浪」額入りと10万円の奨学金を鷺見会長が贈呈、続く日本の歌「ふるさと」全員合唱を2名の恭子会員（平田さんの生伴奏；野田さんの解説）のリードで締めくくりを飾った。

途中食事を取りながら、次の100年に向けてGWIランプ点灯式、記念ソング”Every Woman and Every Girl”合唱、ソングコンテスト、ロゴコンテスト優勝者（オーストラリア、フィジー）表彰、100歳記念のバースデーケーキ入刀、および次の奨学金授与が行われた。

- ①100周年記念 Caroline Spurgeon：Vidya Diwakar（ケンブリッジ大）12000CHF,
- ②(FfWG) Crosby Hall Fellowship：Ariana Markowitz（ロンドン大）6000£,
- ③BFWG Marjorie Shaw Fellowshi：Mireille Widmer（サセックス大）5000£,
- ④Chitra Gosh Award：Swati Bedekar（インド）1000CHF,
- ⑤Nazan Moroglu Young Member Award：Irina Trofimova（ロシア）1000CHF.

4. GWI デー

最終日は、ジュネーヴに本部を置く赤十字国際委員会より若手の研究員 Ms. Aarathi Krishnan を基調講演者に招き、AI の台頭をはじめ急速に変化する世界を将来展望する刺激的なプレゼンで始まり、テーマ別ワークショップ、昼食を取りながらの地域別会議、午後は公開討論会と続き、前回のケープタウン大会以降の財政回復の3年間会長を務めた Geeta Desai の寄付金贈呈を含めた退任の挨拶、と盛りだくさんのプログラムで、閉会式まで終日慌ただしく過ぎた。

その最後を飾った公開討論会“Using our History to Positively Impact on the 21st Century”「これまでの歴史を次世代へ積極的に活かす」において、100年前の創設時に始まり今日に至るまで GWI (旧 IFUW) の発展に貢献した 59 名の「卓越した女性たち」を顕彰する Inspiring a Vision: Pioneers and Other Women (編集: Anne Holden Rønning) が発刊されたことが紹介、披露された。その中に、イギリスの Caroline Spurgeon、アメリカの Virginia Gildersleeve や、世界の先駆的女性科学者 Marie Curie と並び、JAUW から高野フミ氏と青木怜子氏のプロフィールがお写真と共に取り上げられている。

<https://graduatewomen.org/wp-content/uploads/2019/08/2019-IFUW-Pioneers-19.08.2019.pdf>

5. 総括

100 周年という節目に我々が大きな期待を寄せていたこともあり、実際の数々のイベントそれぞれの内容、特に運用面において JAUW で経験しているような緻密さが欠けているのでは、との印象を抱きはしたものの、資金不足の中においても、地の利を生かし WTO (世界貿易機関) や国連の諸機関ならびにスイス政府やジュネーヴ大学から女性の専門家ならびに適任者を多く集め、GWI がテーマ: Peace through Education に対して今の時代、この世界でどのような取り組みをすべきと考えているか、提唱の趣旨は、前掲の基調講演や以下の公開討論などからくみ取ることができた。

- 1) “A Common Goal of Development in the Global Economy” 「グローバル経済における開発の共通目標」
- 2) “Importance of Gender Equality in the World Trade” 「世界貿易におけるジェンダー平等の重要性」
- 3) “The Evolving Roles of Education and Gender Equality in the Prevention and De-Escalation of Conflict and in Building Sustainable Societies” 「争い・暴力のない持続可能な社会づくりのために必要性を増す教育とジェンダー平等」
- 4) “Global Awareness and Engagement: Understanding Our Global Economic, Social, Environmental Connectedness as a Path to Education and Development rather than as a Driver of Conflict” 「グローバル化する経済・社会・環境が紛争を助長するものではなく、どのように教育と開発への導きとなるかを理解できる気づきと社会参画」
- 5) 開会行事祝辞における国会議員 Lisa Mazzone の発言「100 年前 10% に満たなかった大卒女性の近年の高学歴化は顕著。しかし当地ジュネーヴで今年 6 月にイコールペイを求め 50 万人規模のデモがあったことは、今も我々が解決すべき大きな課題があることを示す」。

以上の大会のメッセージを受け止め、今後の JAUW の活動に生かし尽力していきたい。 以上